

ふくサポ通信
イベント情報
2021.5-6月分

SmileCafe

イベント情報!

※コロナウイルス等による変更や中止の可能性がございますので、事前に主催団体までお問合せください。
また、変更等ございましたらふくサポのHPでも随時お知らせしてまいりますので、ご確認をお願いいたします。

5/12
19(水)
26
6/2

ノルディックウォーキング 教室

新緑の中を歩くことで自粛生活で凝り固まった心と身体をほぐしましょう。ポールを使うことで膝、腰の負担が減らせます。全4回の教室です。

- 会場/あづま運動公園
- 時間/10:00~12:00
- 参加料/全4回で2,500円 別途ポール代各回300円

- 主催/NPO 法人あづまスポーツクラブ
- 問合せ/TEL 024-593-6337 (小池)

5/17
31
(月)

はじめてのフラダンス教室

ハワイアンミュージックに癒されながら踊ります。ちょっと身体を動かしてみたい方に最適です。

- 会場/あづま総合体育館
- 時間/13:00~14:30
- 参加料/1,500円



5/16
日

西根堰、西根神社、愛宕山公園 花水館奥の間をめぐる



国登録有形文化財の十綱橋と花水館奥の間、土木遺産の西根堰、西根神社、愛宕山公園では与謝野晶子の歌碑や宮本百合子の文芸碑を見て歩きます。

- 集合場所と時間/福島駅東口(古閑裕而像前) 8:45、又は福島駅西口バス停前 9:10
- 参加料/600円(保険、資料代) 入場料、交通費については自己負担
- 主催/NPO法人福島ツーリズムの会
- 問合せ/TEL 090-5593-6182 (川崎)

※実施日の5日前までのお申込みが必要となります。

6/12
土

吾妻修験道の不動滝にしみいる エゾハルゼミの声を聴こう

「うつくしま音30選」に選ばれたエゾハルゼミの声を聴き、落差30mの不動滝や、信達平野一望のずり山を訪ねます。

5/22
土

てつがくカフェ@ふくしま 「親の呪いは解けるのか？」

「哲学カフェ」とは、街中のカフェなど誰もが自由に入出入りできる場所で、参加者同士で特定のテーマについて話し合う集いの場です。5月は標記のテーマとなります。

- 会場/福島市市民活動サポートセンター
- 時間/16:00~18:00
- 参加費/無料
- 主催/てつがくカフェ@ふくしま
- 問合せ/TEL 090-5995-1466 (石井)

6/11
金

福島市子ども劇場連絡会 高学年部第157回例会 「君がいるから」

(対象:小学4年生以下)

力を合わせて困難を乗り越えてゆく3匹の犬が繰り広げる友情物語。「ひとりじゃない!俺たちがいるぞ!」のメッセージ溢れる舞台劇です。

- 会場/こむこむ館 (わいわいホール)
- 時間/19:00~20:00
- 入場料/無料(会費充当)
会員制:入会金200円、月会費4歳以上1000円
- 主催/福島市子ども劇場連絡会
- 問合せ/TEL 024-558-0066 (永山)

助成金・活動支援情報

◇未来のつばさ プロジェクト支援事業2021

児童養護関連（社会的養護を要す児童を対象とする）プロジェクトで、そのテーマや内容が子どもの権利擁護、子どもの最善の利益に資するものであること。

- 対象となる活動／子どもの健全育成
- 助成金額／助成金総額：360万円 一件あたりの上限額：30万円
- 応募締切／2021年 **5月31日（月）必着**
- お申込み・お問合せ／<https://mirainotsubasa.or.jp/contact/> からお問い合わせください。

◇子どもゆめ基金

「子どもゆめ基金」は、未来を担う夢を持った子どもの健全育成を進めるため、民間団体が実施する自然の中でのキャンプや科学実験教室などの体験活動、絵本の読み聞かせ会などの読書活動などへの支援を行っています。

- 対象となる団体／社団法人、財団法人、NPO法人、法人格を有しない地域のグループ・サークルなど、青少年教育に関する活動を行う民間の団体が助成の対象となります。
- 助成金額／全国規模の活動300万円、都道府県規模の活動100万円、市町村規模の活動50万円
- 応募締切／2021年 **6月15日（火）必着**
- お申込み・お問合せ／〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号 TEL 03-5790-8117, 8118（子どもゆめ基金）
子どもゆめ基金フリーダイヤル（無料）：0120-579-081

◇令和3年度福島県赤い羽根共同募金事業

福島県共同募金会では、『安心・安全で住みよい福祉のまちづくりのために、または地域の福祉課題を解決するために行われる、住民の自発的・組織的な課題の状況に応じた柔軟かつ多様な活動』に取り組んでいる地域のボランティアグループや特定非営利活動法人（NPO）等の支援・育成を目的として、一般公募による助成を行います。

- 対象となる団体／県内で活動するボランティアグループ、特定非営利活動法人（NPO）等
- 助成金額／1団体20万円を限度とします。
- 応募締切／2021年 **5月31日（月）※消印有効**
- お申込み・お問合せ／〒960-8141 福島市渡利字七社宮111番地 福島県総合社会福祉センター内
社会福祉法人 福島県共同募金会 TEL：024-522-0822 / FAX：024-528-1234

◇令和3年度赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン

コロナ禍においても地域福祉の現場で大切にされてきた「つながり」を途絶えさせず、感染症の影響で浮き彫りとなった子どもや家族を取り巻く課題に取り組む活動を支えることを目的に本助成事業を実施します。

- 対象となる団体／感染症拡大に伴う影響を受け、社会的に孤立することが懸念される子どもや保護者を支援する事を目的に行われる活動を対象とします。
- 助成金額／1団体あたり30万円（助成件数の目安14件程度）
- 応募締切／2021年 **6月30日（水）必着**
- お申込み・お問合せ／〒960-8141 福島市渡利字七社宮111番地（県総合社会福祉センター内）
TEL 024-522-0822 FAX 024-528-1234

☆ふかちゃんをつぶやき☆

ふかちゃんことふくサポの常勤顧問である深澤秀樹が、感動したことや疑問に思ったことなど、時事ネタを交えながらつぶやきます。

今年の開花は早かった。そして4月はコロナ禍とはいえ華やかなスタートの時。紅葉も雪景色も素敵だが、色とりどりの花や新芽のこの時期、私の心は最もウキウキする。しかし、福島のこの時期は10年まえから別の意味を持った。私たちは、思い起こし、反省し、報告し、また前を向く。家族を亡くし、家を無くし、故郷を失くした人の心、私には理解はしても本当にはわからない。そんな中で、あの時小中学生だった子ども達が巣立っていく映像がテレビで流れる。復興はどこまで進んだのか。時が解決したものは何だったのか。「被災地」という言葉をそんなに簡単に使っていないのか。青空に反して心が重たくなる。

震災と原発事故によって、東北のNPO文化は一挙に進んだ。たくさんのボランティアが支援に入り、自ら立ち上がった地場の人々と共に復興を進めた。物事をできるだけポジティブにとらえ、自分のできることを探し、見つけ、たくさんの小さな目標に向かって活動し、達成感を得てまた先に進む。しかし、そんなボランティアも時には自分の弱さと向き合い、人の痛みが気が滅入る。その時、「～べき」を前提とした上目からの「支援」という言葉が相応しくないと感じ、自分の身勝手をなじることになる。「感謝される」という支援の中にある「結果」を追い求める心。新緑に似合うのは、たぶん「支援」より「よりそい」なんだろうと。